



月刊税理士事務所チャンネル CHANNEL

2019
10
No.458

シリーズ企画

経営革新等支援機関の今後の展望…………… 6

事務所訪問

礒塚絵理子税理士事務所…………… 2

会計事務所・顧問先向け

MJSソリューションの紹介…………… 5

ご当地自慢…………… 10

エヌエヌ生命とミロク会計人会の連携による

顧問先のリスクマネジメント強化施策の推進…………… 13

もっと活用!

情報満載「TVSサイト」のススメ…………… 14

ミロクシステムQ&A

「相続税申告書」…………… 15

会計人のリレーエッセイ

九州ミロク会計人会 濱谷 和美…………… 19

今月の表紙:大正ロマンあふれる門司港駅が復活

撮影:大坪 一彦(九州ミロク会計人会) 場所:福岡県北九州市門司区

日本の未来—
企業を支える



ミロク会計人会

<https://www.mirokukai.ne.jp/>



女性が働きやすく、顧問先にとって親しみやすい事務所を目指して

女性4人、和気あいあいとした家族のような雰囲気のかまづか碓塚絵理子税理士事務所。
ご自身の経験から「女性が働きやすい環境づくり」を大事にしてきた所長の碓塚 絵理子先生に、これまでの歩みやスタッフとのコミュニケーション、顧問先支援のあり方などについて伺いました。

「まず、開業に至るまでの経緯をお聞かせください。
碓塚 絵理子所長（以下、敬称略） 私が税理士という仕事のことを初めて知ったのは、高校3年生のときです。理系専攻で将来は医療業界で働くことを志望していたのですが、母が税理士資格を取ろうと勉強を始めたことがきっかけとなり、この仕事に興味を持ったのです。当時はまだコンピューター会計は全くといっていいほど普及しておらず、「紙と鉛筆と電卓さえあれば、多数の企業経営者の顧問としてやりがいある仕事ができる」というところに惹

20代での資格取得後から事務所開業までの紆余曲折

かれました。

福岡の大学を卒業後、資格学校に通い、熊本に戻ってからは地元の会計事務所勤務の傍ら勉強をつづけて1990年に資格を取得しました。

「そこから現在の事務所を立ち上げるまで、いろいろとご苦労があったそうですね。」

碓塚 実は29歳で一度独立しました。ただ、当時はまだ熊本県内に女性の税理士は少なく、特に20代の女性税理士となるとほとんどいませんでした。まだ実績がなかった私はなかなか信頼を得られず、顧問先は一向に増えませんでした。それで事務所を閉め、もう一度別の会計事務所に勤めることに。そこには3年ほど勤務したのですが、そ

事務所 訪問

かまづか 碓塚絵理子税理士事務所

所在地 熊本県熊本市中央区新大江2-11-6-502
TEL 096-342-6900
設立 2001年
職員数 3名



事務所に置かれている商売繁盛のお守り





和気あいあいとした家族のような雰囲気のオフィスです

の間に子育てをしながら働くことを経験しました。これまでのようにフルタイムで働くのは難しく、資格を持っているのに税理士として十分に働けないことでもどかしい思いをしました。

そこで、私は地元企業の企業に就職することを決意しました。「この業界をいったん離れ、より広い世界で経験を積んでみよう」と思ったのです。入社した

のは、これまでと異分野である地元の建設業者。経理担当の正社員から始まって、仕事の外注の仕方や稟議をスムーズに通すための工夫の仕方、品質保証のためのISO認証取得の段取りなど、社会人としてさまざまなことを学び、7年間の会社員時代のうち後半は管理職にまで出世、経営の数字や指標について役員に説明する役割を果たしていました。

こうした経験の傍ら、私は再度の個人事務所開業を目指して準備を進めました。異業種交流会などに参加し、地域金融機関や各種士業の方、企業経営者などの人脈拡大に努めたのです。10年前と比べると女性が働くことに對する世間的な理解がかなり変化していたので、私は強い手応えを感じつつ、2001年1月に現在の礎塚絵理子税理士事務所を開業することができました。

——7年間の企業勤務を経て、あらためて開業されたわけですが、滑り出しはいかがでしたか。

礎塚 貯めていた自己資金と借金で小さな事務所を借り、何よりもまず看板を掲げました。「自宅兼事務所の片手間で仕事している」と周囲に見られたくはなかったですし、あくまでも税理士として独り立ちして働きたいと考え

ていたので、オフィスと看板を構えたほうが顧問先の信頼を得やすいと思っただけです。ところが、事前に人脈を広げる努力をしていたとはいえ、単独で立ち上げた事務所ですから、当然、顧問先はゼロからのスタートでした。最初はほとんど仕事が入らず、苦しい経営を強いられました。半年ほどたって、前職の経験で仕組みをよく理解している建設業界から仕事が入るようになって、他、事前の人脈づくりが効いてきて地域金融機関などから徐々に声が掛かるようになっていきました。

女性が働きやすい環境を意識した事務所

——礎塚先生の事務所は現在、先生をはじめとして職員の方たちが全員女性で、全体的に和気あいあいとした家族のような雰囲気が感じられます。一人で開業された後、どのようにしてこうした体制や雰囲気をつくってきたのでしょうか。

礎塚 以前、子育てをしながらの勤務に苦労した私自身の経験から、「自分が事務所を開くときには女性が働きやすい場づくりをしよう」と早くから考えていたのですが、開業後、私はまだ幼い子どもを連れて事務所に通うと、職員たちは自然とよく面倒をみてくれま

した。それで「やはり職場はこうあるべきだ」とあらためて思ったことを、今でもよく覚えています。開業から5〜6年した頃に職員は女性限定にしようという決め、以来、事務所に子どもがいる状況は当たり前となり、まるで保育園のようにスタッフの子どももたちが元気に遊んでいます。もちろん、誰かの子どもが病気になるったり、行事がある場合などはお互いフォローし合って休めるようにしています。ちなみに現在いる3人の職員は皆10年以上勤続しているベテランで、まさに家族のような間柄です。

家族のような親しさとビジネスパートナーの信頼感

——顧問先とは、どのような関係を築いていますか。

礎塚 顧問先の中にも、家族ぐるみのお付き合いをさせてもらっている方がたくさんいて、男女問わず「お母さんのように」に慕ってくれています。特に最近では、うれしいことに「女性税理士の方に顧問になってほしい」と思っていた」と声を掛けてくださる経営者の方が増えています。経理担当には経営者の方の奥様など女性が多いので、女性税理士のほうが気軽に相談に乗れるという事情があるようです。



親しみやすさと信頼感を大事にされている碓塚 絵理子先生

また、家族ぐるみでの親しさとともに、

常に意識しているのは「お客様にとって信頼できるビジネスパートナーでありたい」ということです。顧問先はほとんど地場の中小企業・小規模事業者であり、これまで税務関係のみならず、密接にコミュニケーションをとることで事業承継や人事面などさまざまな経営課題を見える化し、一緒にその解決に取り組んできました。

顧問先支援の高度化や女性税理士の応援

——最後に、今後の展望をお聞かせください。

碓塚 顧問先のためにできることを、これまで以上に広げていきたいと考えています。例えば当事務所は中小企業庁の経営革新等支援機関に認定されていますが、現状では顧問先のために認定機関としての役割を十分に果たせて

いるとは言えません。より高度な経営

支援や助成金活用など、地場の中小企業・小規模事業者が経営力を少しでも高められるよう勉強していきたいと思っています。

またここ数年、顧問先の自計化やIT化がジワジワと増えていますが、これをより一層推進していきたいと考えています。

——碓塚先生は南九州税理士会の会務にも、いろいろな形で携わっています

ね。

碓塚 これから先、私が特に貢献したいと考えているのが女性税理士や若手税理士の応援です。現在、南九州税理士会には約70人の女性税理士が所属していますが、私自身の経験を踏まえて「子育てをしながらでも顧問先支援できる」ということを広く伝える機会をつくっていききたいと思っています。

——本日はありがとうございました。ますますのご発展をお祈りいたします。

History & Story

税理士までの歩み

高校時代に税理士の仕事に興味を抱いた碓塚先生は福岡の大学を卒業後、福岡に進出したばかりの資格専門学校に通ったそうです。その後は熊本に戻って地元の会計事務所働きながら勉学に励まれました。1990年に税理士資格を取得、29歳で独立し事務所を立ち上げたもののうまくいかず、事務所を閉めて別の会計事務所に約3年間、勤めました。さらに地元の一般企業で7年間にわたって働いた後、2001年1月に満を持して現在の碓塚絵理子税理士事務所を開業しました。

MJSソリューションの紹介

MJSは多彩な製品・サービスを提供しています。本コーナーでは、その中でも会計事務所の先生方にぜひ知っていただきたいソリューションを厳選してご紹介します。

【今月のソリューション】

Edge Tracker 年末調整申告

業務効率化を推進する5つのクラウドサービスを提供

「Edge Tracker (エッジトラッカー)」とは、経費精算や勤怠入力といった業務をスマートフォンなどさまざまな機器で行えるよう、MJSが提供しているクラウドサービスです。クラウドの特性上、導入企業の従業員は時間・場所を問わず入力や申請ができ、管理部門は一括してその情報を把握できるので、双方の業務効率化を推進します。また、各サービスから取り込ん

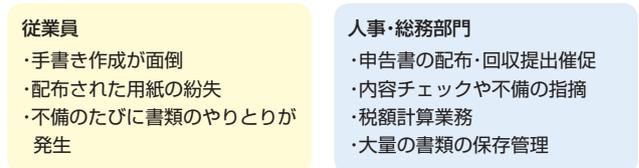
だデータをMJSシステム※と連携させ、財務会計・給与システムとのリアルタイムなデータ連携を図り、業務のさらなる効率化とスピーディーな経営情報の活用を支援します。少規模の企業でも導入が進んでおり、「働き方改革」につながる業務効率化への関心が高まっています。現在、「経費精算」「勤怠管理」「給与明細参照」「年末調整申告」「ワークフロー」の5つをご用意。クラウドツールなので導入の手間がかからず、すぐに使い始められることもメリッ

トの一つです。
煩雑な年末調整業務を支援しコスト削減の実現にも期待
 今回は、5つのサービスの中でも「Edge Tracker 年末調整申告」を詳しくご紹介します。毎年の年末調整では、紙ベースで業務を行うことにより、図1のようなさまざまな負担が生じます。ここを電子化すると、業務効率化とコストダウンが一気に図れます。図2のように、従業員はガイドに沿って入力するだけ、人事・総務部門は申告書の配布や回収などの手間が省けます。さらにMJSのシステムと連携することで、年末調整の計算などの業務も飛躍的に効率化します。これらにより、図3のコスト削減例では、従業員800名規模の企業で導入すると年間393時間削減が見込めます。
 2020年の年末調整においては、保険料控除の証明書の電子化、第4の申告書「給与所得者の基礎控除申告書」の追加などがあ

図3 コスト削減例

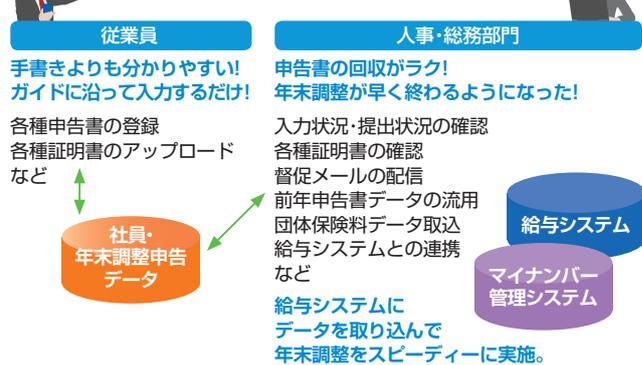


図1 年末調整で生じる負担



業務の電子化で解決

図2 飛躍的な業務効率化を実現



経営革新等支援機関の今後の展望

2012年に経営革新等支援機関を認定する制度が創設され、現在3万2000以上の機関が認定を受けています。ただ、創設の目的である中小企業への経営支援については、どれくらいの認定機関が実際に活動を行っているのか疑問視する向きもあります。

そこで、経営革新等支援機関の支援や中小企業とのマッチングなどを手掛けている中小企業基盤整備機構の経営支援部 支援機関サポート課に、経営革新等支援機関の現状と課題、そして今後の展望について伺いました。

経営革新等支援機関の認定制度は2012年、中小企業の経営課題の多様化・複雑化を背景に施行された「中小企業経営力強化支援法」に基づいて創設されました。ご存じの通り、税務や金融、企業財務などに関する専門知識や支援の実務経験が一定レベル以上の個人、法人、中小企業支援機関などを経営革新等支援機関として認定するもので、現在のところ認定機関は3万3683(19年6月28日時点)。内訳としては7割強が税理士(個人、法人)、各地の信用金庫や信用組合などの地域金融機関や商工会・商工会議所等の地域支援機関も経営革新等支援機関となっています。

経営革新等支援機関に対する中小機構の地域支援機関等サポート事業



小串 仁志 氏

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
経営支援部 支援機関サポート課
課長代理

1998年4月、地域振興整備公団に入団。山形県や長崎県において工業団地等の分譲・管理業務に従事。2004年7月の独立行政法人 中小企業基盤整備機構への改組後は、クリエイション・コア東大阪におけるインキュベーションマネージャー業務、中小企業大学校東京校における企業研修企画業務、東北本部における経営支援業務など幅広い業務に携わる。現在は地域支援機関等の支援能力・機能の向上・強化を目的とした地域支援機関等サポート事業の企画立案等を担当。

私も中小企業基盤整備機構(以下、中小機構)では、北海道本部から沖縄の中小企業支援機関のサポート事業を行っています。その柱は①対話による課題の顕在化(全国の中小企業支援機関に対して、専門性の高い中小企業支援アドバイザーが直接訪問、ヒアリング。その場で経営支援のアプローチの仕方をアドバイス)②ニーズに合わせた講習会の開催(事業性評価、伴走型支援、IT導入による生産性向上など、中小企業支援機関のニーズに合わせた講習会を開催)③現場で役立つ支援情報の提供(中小機構が培ってきた支援ノウハウを結集し、現場で活用できるコンテンツを公開、提供)の3つです。

身近な支援機関としての経営革新等支援機関

身近な支援機関としての経営革新等支援機関は今、いかに支援能力・機能を向上、強化するかが経営革新等支援機関の課題となっています。特に地域の中小企業・小規模事業者が気軽に相談できる支援機関としての存在意義は大きく、計画的かつ継続的な支援が求められています。そのためには当然、支援対象である事業者の財務情報などの情報だけではなく、非財務情報についても十分に把握する必要があります。経済産業省は11年頃から、経営理念や社の歴史、匠の技、顧客ネットワークといった「知的資産」の価値を重視する「知的資産経営」を推進してきましたが、今後はこの知的資産経営に加えて、事業性評価やローカルベンチマークなど、将来を見据えた評価指標・評価手



税理士などを含む認定支援機関に対し、東北経済産業局と中小機構の東北本部が連携して行った講習会の様子

中小機構による地域支援機関等サポート事業の全体像



経営革新等支援機関から支援を受けることで申請可能となる主な補助金や税制優遇などの施策

経営改善計画策定支援事業	金融支援を伴う経営改善が必要な中小企業・小規模事業者が認定支援機関の助力を得て取り組む経営改善計画策定とモニタリングの費用を支援。また、金融支援が必要となる前の早期段階における簡易な経営改善計画策定とモニタリングの費用も支援。
ものづくり・商業・サービス支援補助金	生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資などにかかる費用を補助。
事業承継補助金	事業承継・世代交代をきっかけに新しいチャレンジを行う事業者を支援。
事業承継税制	後継者が非上場会社の株式等を先代経営者等から贈与・相続により取得した際、経営承継円滑化法により都道府県知事の認定を受けると、贈与税・相続税の納税が猶予される制度。

出典：中小企業庁HP

法を取り入れて経営を支援していくことが重要です。そこで中小機構としては、これらをテーマとした講習会を実施することで、中小企業の非財務情報を把握する手法についてお伝えしていきます。講習会に際しては一方的に講義

するだけでなく、グループワークなども取り入れ、より多くの議論や情報交換・意見交換が行えるようカリキュラムを策定しています。また、日頃の支援活動などに生かせるよう、実際の支援先の情報を持ち寄っていただくなど

の工夫もしております。

直接ヒアリングを軸とした多種多様なサポートを展開

当機構の各地の拠点に寄せられる相談に対する支援の一例を挙げますと、例えば沖縄県の中小企業を中心に組合の設立や運営などを支援する沖縄県中小企業団体中央会から「中小企業の健全な発展を図るため、組織化指導などのコンサルティング機能を向上させた」という相談を受け、中小機構沖縄事務所の中小企業支援アドバイザーが訪問。ヒアリングを重ねる中で、同中央会が「支援先の強みを明確化できていない」という課題を抽出、同事務所はヒアリング力と提案力を向上させる講習会を提案・開催しました。同中央会職員らは講習会で得た知識を活用し、事業の強みを理解しながら今後の方向性を提案できるまでにスキルアップ。支援機関として一歩踏み込んだサポートを提供できるようになりました。

また、福岡県久留米市に本拠地を置く久留米商工会議所は新しく策定した「経営発達支援計画」において「小規模事業者自らの持続的な経営と自立化を支援するために、経営改善の意識・意欲レベルに応じた個社支援を行う」という目標を設定、職員のさらなるス

キルアップを目指していました。そこで中小機構九州本部の中小企業支援アドバイザーが訪問しヒアリングを行い、支援メニューの一つである「事業計画書作成支援講習会」を開催。これを受けて実践的なスキルを身につけた同商工会議所職員らは支援企業の補助金獲得などの成果を上げることができました。

もちろん、経営革新等支援機関の大部分を占める税理士、公認会計士の方からの相談もあり、税務・財務分野以外のテーマ、例えば顧問先の人材育成や経営計画、売上・販路拡大などの面で、当機構の登録専門家がさまざまなアドバイスをを行っています。

経営革新等支援機関の認定制度が始まってから約7年、一定以上の専門性と実績を備えていれば認定を受けられることから、当初は多くの支援機関等が経営革新等支援機関に名乗りを上げましたが、難しいのはその看板を維持していくことです。昨年9月から5年ごとの更新制度も導入されたこともあって、今後ますますその活動の質を問われることとなります。当機構としては、これからも多様な支援によって、全国各地の経営革新等支援機関の支援能力・機能の向上、強化のお手伝いをさせていただきます。

旭日税理士法人

宮城県
仙台市

2003年に開業した仙台市の旭日税理士法人は、多彩な法人顧客の経営支援の知見を生かし、経営革新等支援機関として活発に活動しています。これまでの支援事例や認定支援機関としての課題、メリツトなどについて伺いました。

多数の法人顧客に向け 密接なサポートを実現

暗闇の中、明け方に山間から差し込む最初の光「旭日」のように中小企業を照らしたい……。そんな意味合いを込めて名付けられたという旭日税理士法人。現在、スタッフは32名で税理士の他に複数の社会保険労務士も在籍、縁あって併設された弁護士事務所ともタッグを組んでおり、ワンストップで多彩な税務・財務・経営支援に対応できることで高い評価を得ています。東北税理士会の常務理事、総務部長も務める、旭日税理士法人代表社員の桑畑弘道先生によれば、「顧問先の大部分は

法人。営業活動は基本行わず、ほぼご紹介で月1社以上のペースで法人顧客を増やしてきた」そうです。その秘訣は「税理士である前に、一人の人間と



旭日税理士法人 代表社員の
桑畑 弘道先生

して経営者に寄り添う」スタイル。「顧問先を訪問する際には、税務・財務状況の確認と同じくらい、社長にお孫さんが生まれたとか、奥様が入院されたとか、そうした家族の情報も大事だとスタッフに言い聞かせている」といいます。そしてこのような密接な顧問先支援とともに、桑畑先生が重視してきたのが経営革新等支援機関としての取り組みです。制度開始当初から認定に向けて準備を進め、東北では草創の経営革新等支援機関として認定を受けたそうです。

事業承継マッチングと 新たな事業展開を支援

その後、旭日税理士法人は多彩な中小企業支援活動を積極的に展開してきました。例えば、2014年の(株)かね久の事業承継案件もその一つ。同

社は自社で粉砕処理したパン粉の販売を主力とする食料品卸事業者で、以前は金久商店という屋号でした。旭日税理士法人と同社の付き合いは長く、桑畑先生はこれまで同社の経営相談にたびたび乗っていました。経営状況は上々でしたが、後継者不在が課題だったといいます。そして「私の代で廃業しようと考えている」と経営者から聞いた時に桑畑先生の頭に浮かんだのが、別の顧問先でもともと食品会社の専務を務めていた遠藤 伸太郎氏のことでした。当時、遠藤氏はちょうど独立起業を検討中。「同じ食品業界でもあり、両者をマッチングさせられるのではな

いか」と考えた桑畑先生が引き合わせた結果、お互い乗り気に。従来の従業員を全員残すなど条件をすり合わせた上で事業承継が成立、遠藤新社長の下、同社はかね久として再出発することになりました。

桑畑先生はその後も継続して同社の経営支援を続け、金久商店時代の経緯や従業員のことをよく知っている立場からさまざまなアドバイスをしました。そして大手食品卸事業者の価格攻勢などで競争環境が激化する中、桑畑先生と遠藤社長は「パン粉活用ノウハウを生かして取引先のメニュー開発を手掛

けたり、調理方法のアドバイスを行ったりしてはどうか」と相談。石巻市出身の遠藤氏が前職時代の人脈を活用して「規格外に大きいカキ」を安価に仕入れるルートを確立し、取引先に同社のパン粉と石巻のカキを使ったカキフライの取り扱いを提案したのです。これが好評で同社は売上を伸ばすことができ、同時に取引先との関係強化にもつながったそうです。

バンクミーティングを重ねて 事業再生に成功

クリーニング業大手のI社の事業再生支援も、旭日税理士法人の経営革新等支援機関としての役割が発揮された事例です。東日本大震災後、同社の経営状況は厳しく、経営者が会社の立て直しに苦慮していたところ関係者から紹介を受け、旭日税理士法人が同社を支えることに。しかし、いざ桑畑先生がヒアリングしてみると、同社は取引銀行すべてに事業再生計画を説明するバンクミーティングを開かねばならない状況にまで追い込まれていました。

それでも桑畑先生は諦めません。「かつては中小企業の経営が行き詰まってしまうたら、ほとんどの場合、金融機関はサジを投げていましたが、昨今で

は財務状況だけでなく将来的な事業性を評価して支えてくれるケースが増えています。ただ、その時には企業側が事業再生計画や業務改善計画をし

つかり立てねばなりません。それをサポートするのが経営革新等支援機関の

使命」と桑畑先生。その思いを胸に、これまでの法人経営支援の知見を生か

して「経営方針や状況説明のサマリーや作業工程のモニタリング、営業管理

資産の減少分をコストカットで補填するためのアクションプラン」など緻密

なレポートを作成し、14年に初のバンクミーティングに臨みました。以来、

これまでに11回を重ね、当初は3か月に一回だったミーティングが現在では

半年に一回になり、同社の経営は少しずつ上向いてきつつあるそうです。

ニーズが高まる 早期経営改善計画

もう一つ、旭日税理士法人が取り組んでいる「早期経営改善計画」作成支援についても紹介したいと思います。

早期経営改善計画とは、早期の経営改善に取り組みたい中小企業・小規模事業者を支援する国の事業で、認定支援

機関が資金繰り管理や採算管理などの経営改善計画の作成を支援し、計画策

定後もフォローするというもの。桑畑先生はみやぎ産業振興機構のセンター

長から協力を要請されたのを機に、顧問先である(株)佐藤建設の早期経営

改善計画作成支援に携わりました。同センターでは近年、早期経営改善計画

の推進に力を入れているのですが、その背景には東北地方の建設業界が抱え



(上) 自社で粉碎処理したパン粉の販売を主力とするかね久の商品ラインナップ。中央上部にあるのが石巻産カキとかね久のパン粉でつくったカキフライ (中央) 現在売出し中、仙台味噌仕立ての牛たんコロケ (下) 東北第1号で経営革新等支援機関に認定

る経営課題があるそうです。「かつて、宮城県内に限らず東北地方の建設会社のほとんどは大赤字を抱えて壊滅的な状況でした。そんな時に起こったのが11年の東日本大震災。それからしばらくは建設バブルで仕事が溢れ、東北の建設業界の景気は一気に向上しました。ところが、多くの建設事業者はその状況に甘んじてしまい、最近になっても財務状態が悪いままの会社が多く、再び経営が悪化してしまう可能性が高い」といいます。そのため、東北の建設業界において早期経営改善計画のニーズが高まっているのです。「(株)佐藤建設の案件はメインバンクからの依頼を受けたものでしたが、今後はより積極的に早期経営改善計画の作成支援を手掛けていきたい」と桑畑先生は力強く語ります。

より高付加価値な 顧問先経営支援のために

このように、経営革新等支援機関として多彩な実績を重ねてきた旭日税理士法人。桑畑先生はこの認定制度について「これからの時代、税理士が付加価値の高い顧問先の経営支援を行っていくためには重要なもの」と強調します。そして「私たちは顧問先企業の経

営数字をすべて把握しており、そうした立場だからこそ実施できる経営支援メニューがたくさんあるはず」と。

昨今、経営革新等支援機関に認定されていながら、実際にはその看板にふさわしい活動ができていない事務所も

多くなっていると言われますが、この点に関しては「全都道府県に設置されている中小企業再生支援協議会の『経営改善支援センター』との連携が鍵を

握るのではないかと桑畑先生。実際、経営改善支援センターでは経営支援の

ための具体策やノウハウ、先進事例などをレクチャーしてくれる他、中小企

業が認定支援機関に対して負担する経営改善計画策定支援に要する計画策定

費用やフォローアップ費用の3分の2(上限200万円)を補助する制度も用意

しています。まずはこうした機関に支援のあり方について相談してみるの

が、高付加価値な経営支援体制構築のための第一歩だといえるでしょう。

本誌アンケートに答えただけで毎月抽選で

2,000円分を
プレゼント!



QRコードからアクセスし、
ぜひお答えください!

ご当地自慢

長崎県

佐世保市

長崎県北部に位置する佐世保市は、西海国立公園に指定されている九十九島や

テーマパーク「ハウステンボス」などを擁する観光都市であるとともに、かつて旧海軍四軍港の一つとして鎮守府ちんじゆふが置かれ、現在も自衛隊や在日米軍の基地がある造船と国防の町としても知られています。そんな多彩な佐世保の魅力をたっぷりご案内します。



③ 小型遊覧船「リラクルーズ」から島々を眺める

外観



② 九十九島パールシーリゾート入口



① 展海峰からの景観。佐世保にはここを含む8つの展望台から九十九島の絶景を眺めることができる

佐世保といえば、まず紹介したいのが九十九島。佐世保湾の外側から平戸瀬戸までの約25kmの海域に浮かぶ大小208の島々を指し、中でも俵ヶ浦たわがうら北部から佐々川流域に至る佐世保近海の「九十九島南部」は、特に島が密集し海岸線も複雑。島の密度日本一①と言われる多島海の絶景は見事です。そんな九十九島南部の魅力が満喫したいなら、九十九島パールシーリゾートへ②。ここはさまざまな角度から九十九島の自然を体感できる複合施設。中でも、大型遊覧船や12人定員の小型遊覧船「リラクルーズ」で九十九島湾の島々の間を周遊するクルージングはぜひ体験してほしいと思います。どの島も海岸線が複雑に入り組んでおり、長い時間をかけて波に削り取られた海食崖など、個性的で表情豊かな地形を

九十九島南部の多島海を存分に満喫



古賀 昭男 代表

税理士法人
土井税務会計事務所

ご案内

しています③。島の密度日本一①ならではの難所も多く、島と島との狭い水域を大型遊覧船「パールクイーン」が通り抜ける様子は圧巻です④。クルージングの他、カヤックや釣り、ヨットセーリングなどのアクティビティもオススメです。遊覧船の船長を務める地元出身の田淵康浩さんによれば、「湾内は波穏やかで船の行き来も少なく、島々には砂浜が点在しているのでシーカヤックに最適。また、ちょっと沖へ出ればハマチなどが大量に釣れるポイントがたくさんある」とのこと。ヨットセーリングでは、大型遊覧船やリラクルーズとはまた違った視点で多島海を眺められるのももちろん、舵取りやセーリング操作を体験することもできるのも魅力です⑤。

水族館やレストランなど魅力的な施設がそろう

九十九島パールシーリゾートを訪れたら、水族館「海きらら」にも立ち寄ってみましょう。この施設の目玉は「九十九島湾大水槽」⑥。その名の通り、湾内の海を再現した水槽で、アジやサバ、マイワシ、サメ、クエ、エイなどがいきいきと泳いでおり湾内の魚種の豊富さに驚かされます。他にも、九十九島周辺の海にすむ100種類以



4 大型遊覧船「パールクィーン」。遊覧船としては日本初の電気推進船



5 クルーズ型ヨットでは、舵取りやセーリングなどアクティブな体験ができる



6 屋根のない屋外型水槽なので、水中に自然光が降り注ぐ午前中が美しい



7 運が良ければイルカがボールで遊ぶ微笑ましい光景も見られる



8 「真珠の玉出し体験」の様子。取り出した真珠は持ち帰ったり、携帯ストラップに加工したりもできる



9 「九十九島動物園森きらら」の「ペンギン館」、日本最大級の天井水槽



10 「コスタ九十九島」の「自家製パンチェッタと千切りポテトのピッツァ」。パスタもおいしい

上のクラゲたちを入れ替えて展示している「クラゲシンフォニードーム」やクラゲ研究室、国内4例目となる人工授精で昨年9月にハンドウイルカのアイルが誕生した「イルカプール」などさまざまな見どころがあります(7)。

館内では、「真珠の玉出し体験」もできるので、時間に余裕があればぜひ参加してみてください(8)。

また、九十九島パールシーリゾートから車で5分のところには「九十九島動物園森きらら」も。こちらでは日本最大級の天井水槽と日本初の極浅水槽で過ごすペンギンに出会える「ペンギン館」や四季折々の花々などを楽しむことができます(9)。

レジャーやアクティビティ、水族館や動物園を楽しんだ後は、リゾート内のレストラン「コスタ九十九島」で休憩するのがオススメです。看板メニューはローマ風のパリパリした生地に千切りポテトをのせたピザ(10)。もちろん石窯で焼いた手づくりで、トマトソースやスープストックなどもすべて自家製でやさしい味わいです。

もう一つ、紹介しておきたいのが「九十九島かき食うカキ祭り」です(11)。11月と2月に九十九島パールシーリゾートの芝生広場で開催される人気イベントで、焼き台400台・1600

席の特設会場は大にぎわいに。九十九島の海の恵みであるぷりっぷりのカキを自分で焼いて食べるのは最高です。

造船と国防の港としての歴史や文化を訪ねる

さて、九十九島をはじめとする自然豊かな佐世保の海には、もう一つ「造船と国防の港」としての顔があります。明治16年(1883年)、軍艦「第二

丁卯^{ていぼう}」で佐世保湾の調査に訪れた東郷平八郎は、湾口が狭く水深が深く波穏やかであることから軍港にふさわしいと評価、明治19年(1886年)に鎮守府を設置することが正式に決定しました。長い時を経た現在も、旧海軍工廠を引き継ぐ歴史ある造船所「佐世保重工業株式会社佐世保造船所(SSK)」が船舶、艦艇の建造と改造修理を行っており、市内に基地を持つ海上自衛隊やアメリカ海軍の艦隊の保守、修理なども手掛けています(12)。

この他、市内には数多くの海軍関連史跡や施設が残っています。公益財団法人佐世保観光コンベンション協会では明治22年(1889年)の鎮守府開庁130年の節目を機に、今年7月から来年4月5日にかけて「旧海軍佐世保鎮守府護守印めぐり」キャンペーンを開催中。「御朱印帳」ならぬ「護守印

帳」片手に鎮守府ゆかりの地や文化財を巡るもので、どの施設もかつての歴史を物語る貴重な存在です。

例えば、市針尾中町にある「旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設」は、大正7年（1918年）から4年の歳月と莫大な費用をかけて建設された長波送信施設で、太平洋戦争の開戦を告げる暗号「ニイタカヤマノボレ一二〇八」を発信したのはこの施設からだと言われています(13)。3基ある無線塔のうち、3号塔は貴重な内部の様子を見学することができます。また、昭和18年（1943年）から終戦まで旧宮村国民学校の教師と子どもたちの手で掘られた防空壕「無窮洞」も、内部を見学できます。地下教室としてつくられた主洞は幅5m、奥行き19mもの大きさです。こうした施設を、自身でめぐるのが良いですが、佐世保観光コンベンション協会のさまざまなツアーに参加してみるのも一興。「日本遺産を巡る海軍さんの散歩道徒歩ツアー」「SASEBO軍港クルーズ」「SASEBOクルーズバス海風」など、いずれも佐世保ならではの内容で、昭和20～30年代初頭、米海軍基地が佐世保に置かれた頃にオープンした「外国人バー」やジャズバーをガイドしてもらえ「SASEBOナイトツア

ー」も人気です(14)。

歴史をじっくり学びたい向きには、「海上自衛隊佐世保史料館」（セイルタワー）も外せません(15)。7階建ての建物内の全フロアで旧日本海軍と海上自衛隊の歴史や活動などが非常に詳しく、かつ分かりやすく展示されていて、膨大な資料群に思わず圧倒されること間違いなしです。

こうした施設を巡る際には各所で多彩な佐世保グルメを味わいたいものです。イチオシはやはり佐世保グルメの代表格「佐世保バーガー」(16)。戦後、米海軍から直接レシピを聞いてつくり始めたのが起源とされるご当地バーガーで、今では店ごとに趣向を凝らしており、チキンカツや肉厚ベーコンなどバリエーション豊かです。他にも、年明けから春が旬でうま味と甘みが強く、食感もプリプリの「赤マテ貝」、飼料にハーブを混ぜることで臭みなく風味豊かに育ち、脂がよくのった「ハーブ鯖」などがあります。

九十九島の絶景やアクティビティ、水族館、動植物園、そして鎮守府としての歴史や史跡など、佐世保ならではの多種多様な魅力を紹介してきましたが、いかがでしたでしょうか。現地を訪れた際にはぜひじっくりと周遊してほしいと思います。



13
旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設
©SASEBO



12
市内各所から見ることのできる佐世保重工業株式会社佐世保造船所のハンマーヘッド型クレーン。国登録有形文化財に指定されている ©SASEBO



11
「九十九島かき食うカキ祭り」の様子



16
佐世保グルメの代表格、佐世保バーガー
©SASEBO



15
海上自衛隊佐世保史料館
©SASEBO



14
外国人バーの様子。店内では英語が飛び交う。ナイトツアーでは、地元のガイドが最初のオーダーまでエスコートしてくれる ©SASEBO

エヌエヌ生命とミロク会計人会の連携による 顧問先のリスクマネジメント強化施策の推進

ミロク会計人会連合会とエヌエヌ生命保険株式会社(以下、エヌエヌ生命)は、業務提携契約を結んでいます。

今回は、両者が共同で推進している、顧問先のリスクマネジメント強化に向けた施策について、2019年4月にミロク会計人会連合会 金子 秀夫会長より発せられたメッセージからご紹介します。

高まるリスクマネジメント強化の必要性

※金子 秀夫会長メッセージより

「ミロク会計人会は、会員事務所
の発展とその顧問先企業の経営
安定を目指し、さまざまな事業
活動を行っています。

その中でも特に今年度はリスク
マネジメントに着目し、対応
を図ることになりました。最近
の世界情勢は混沌を極め、国内
経済の先行きも不透明と言いま
す。また、企業経営者の高齢化
も進行しており、それらの背景
から顧問先のさらなるリスクマ

ネジメント強化は欠かせません。
既に本会では2011年より
エヌエヌ生命と業務提携を行い、
顧問先の事業の安定や成長を支
援しております。その経験を生
かし、同社との業務提携内容の
見直しと協力体制の強化を図る
こととなりました。

ミロク会計人会連合会におい
ては、「リスクマネジメント
」を通じてエヌエヌ生命本部
と施策の綿密な検討を行い、委
託業務が確実に遂行され、成果
につながるよう支援します。

各単位会においては、新たに
「リスクマネジメント推進委員
会」を設置し、ミロク会計人

会の付加価値を高めるための取
り組み」として、リスクマネジ
メント全般についての研修会な
どを実施していただくようお願い
いたします。」

各地で実施される 研修会などの活動

今年度の方針を基に、各単位
会では既に表のような研修会が
計画され、実施されています。
下半期はさらに活動が活性化し
ていくことが望まれます。

先の8月29日には、東京の新
宿センタービルMJSセミナー
ルームにて、東京ミロク会計人
会主催の「定期保険及び三分
野保険に係る改正法人税基本通
達等、Q&Aの解説」をテーマ
とした研修会が開催されました。



東京会が開催した研修会の模様

主に次のような内容で、当日は
19名の方が参加されました。

- 国税庁の令和元年6月28日付
取扱通達の改正と個別通達の
廃止による会計業務の留意点
- 法人向け保険商品提案におけ
る体制整備と留意点
- 保険の見直しの重要性
- 税制変更に伴う、エヌエヌ生
命の商品ラインアップ

上記テーマの他にも「遺産分
割を疑似体験しながら学べる、
参加型研修」や「変動損益計算
書を活用した、収益改善ロジッ
クの解説」など各地区で工夫を
凝らした興味深いテーマにて研
修会が計画・開催されています。

エヌエヌ生命は、「生命保険を
活用したリスクマネジメント強
化支援」に強みを持ち、税制改
正に対応した、中小企業が必要
な資金の準備ができる商品ライ
ンアップを準備しています。会
員の皆様におかれましては、本
事業の意義をご理解いただき、
顧問先のリスクマネジメント強
化への取り組みにぜひご参加い
ただければと思います。

表 リスクマネジメント施策実施計画 (9/4 現在)

単位会	開催日・場所とテーマ
北海道会	9/18札幌(遺産分割ゲーム:遺産分割を疑似体験しながら学べる、参加型研修)
東北会	10/10仙台、10/11盛岡(民法改正の詳細と相続業務への影響)
関東信越会	7/25大宮(払いすぎないための相続税額算定における留意点)
東京会	8/29新宿(定期保険及び第三分野保険に係る改正法人税基本通達等、Q&Aの解説)
北陸会	10/25金沢(定期保険及び第三分野保険に係る改正法人税基本通達等、Q&Aの解説)
中部会	6/13静岡西部(遺産分割ゲーム:遺産分割を疑似体験しながら学べる、参加型研修)、9/10愛知西部、9/26愛知東部、10/2岐阜、10/7静岡東部、11/13三重
近畿会	未定
中国会	10/10岡山(契約時・契約後に活用できる生命保険の機能と法人保険に関する新税制のポイント)
四国会	10/4高松(生命保険支払事例、税制変更後の生命保険提案について)
九州会	11/21福岡(変動損益計算書を活用した、収益改善ロジックの解説)
沖縄会	6/7那覇、11/12那覇(変動損益計算書を活用した、収益改善ロジックの解説)

「TVSサイト」のススメ



1 TVS契約者は無料で使える

皆様は「TVSサイト」をお使いでしょうか？TVSサイトは、「TVS（会計事務所トータル・バリューサービス）」をご契約中のお客様専用Webサイトです。MJSのソフトウェアや、ハードウェア全般の最新情報をはじめとした、さまざまなコンテンツを掲載しています。

TVSにご加入のお客様はこれらの情報を無料で閲覧することができますので、存分にご活用いただきたいと思います。

要Check!

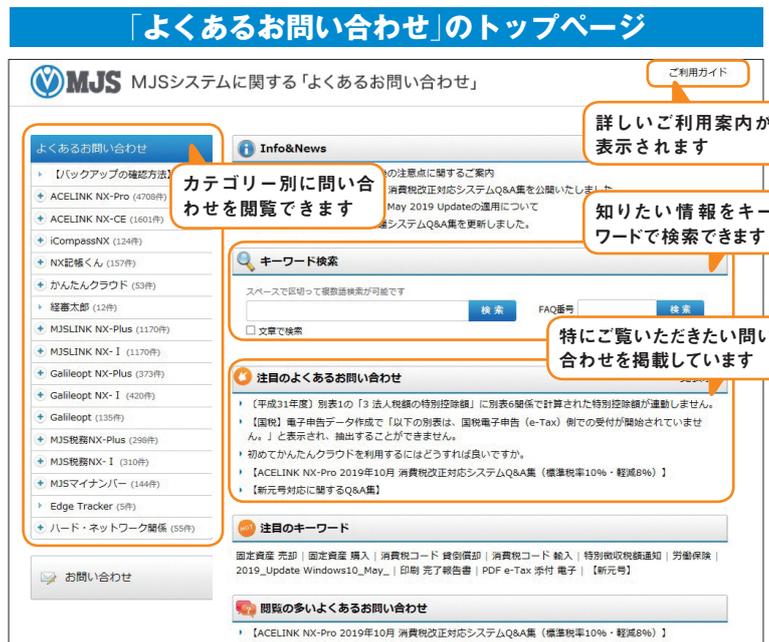
ログイン方法などはサイト画面右下の「チャットボット（自動会話プログラム）」が詳しく教えてくれます！

2 システムのよくあるお問い合わせ(Q&A形式)が便利

数ある情報コンテンツの中で最もお勧めしたいのが、「よくあるお問い合わせ」です。お客様から多数寄せられるお問い合わせについて、Q & A形式で分かりやすく解説しています。

さらに、「よくあるお問い合わせ」の中でも特に皆様にご覧いただきたいものを5件を週1回ピックアップし、その時期に最もニーズのある情報を適宜提供しています。また、キーワードや文章での検索にも対応していますので、必要とする情報を効率的に探すことができます。

現在、**総計3000件以上**のお問い合わせとその回答を集約しています。「よくあるお問い合わせ」をうまく活用することで、早ければもの数分で不明点が解消できます。カスタマーサービスセンターへお電話いただく前に、まずはこちらをご確認ください。



3 毎日更新するコラムなど、情報満載

他にもTVSサイトでは、MJSの研究機関「**税経システム研究所**」による研究成果や、第一法規の税務・会計データベースなど、実務に役立つさまざまな情報を掲載しています。

なお、このTVSサイト、一つの会計事務所様で**複数のアカウント（ID・パスワード）**を発行できる仕組みになっており、事務所の皆様がそれぞれのアカウントを利用でき、個別にMJSからのメールマガジンを受信することなどもできます。

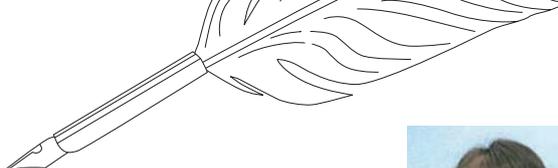
便利でお得な情報が満載のTVSサイト、まずは一度アクセスしてみてください。

アクセス方法

MJS TVS

検索

<https://tvs.mjs.co.jp>



九州ミロク会計人会

長崎県長崎市 濱谷 和美

「高齢者向け 消費税セミナーを終えて」

本年10月からの消費税増税を前に、長崎市役所のある課より「消費税増税に備える家計への負担軽減」と題し高齢者向けセミナー講師の依頼を受けました(本年7月時点)。長崎市では年に約3回、一定の高齢の方を対象に毎回学ぶ内容を変えながら健康教室を開催しているそうです。

セミナー参加者は74歳以上で最高齢94歳の方も参加されるとのことです。租税教室で小学生向けに税金の話をしたことはあるものの、高齢者向けのセミナー教材はどうしたものかと迷いました。

市の職員の方からは、健康教室では税金に関するテーマは初めてですが、毎回居眠りされる方もいらつしやるので、気負わずにどうぞということでした。そこで、消費税の引き上げと軽減税率に関するテキスト通りの説明は避けて会話型のセミナーの進め方を念頭にレジュメ作成してみました。

セミナー当日、会場である

福祉センターの教室には30名程度の方が参加され、今回の消費税増税、特に軽減税率の導入には大きな関心と不安をお持ちで、おそらくテレビのワイドショーなどで「イートインで食べると税率は8%か10%か?」などというクイズまがいの軽減税率に関する話題をご覧になっていたのでしょう、そのような説明になると皆さん喜々として正解をお答えになろうとしました。

しかし、今回の消費税増税の本質的な部分は少子高齢化に伴う「福祉財源の確保」です。増税分が予定通り活用されると福祉関連収支はどのように移すのかなど本質に触れるような情報は、高齢者の方がよくご覧になるであろうテレビメディアでは、あまり目にしなかつたように思います。確かに買い物をする際の混乱のほうに目を奪われるのはやむを得ないことかもしれません。

ところで、長崎市の人口は約41万人。2018年の人口移動報告によると、三菱重工業長崎造船所で客船建造が終了したことによる余波も一因としてあるものの、長崎市の転出超過数は市町村別データをとり始めてから初の全国ワーストワンのようになりました。深刻な人口減少は他市町村も同様とは思いますが、自然減よりも若年層から生産年齢人口の転居などによる社会減が長期にわたり続いていることは、生活実感としても感じられます。

長崎市は、その対策として自然減、社会減それぞれの課題について戦略審議会を発足し、来年3月までに次期戦略を策定することです。

さて、私のセミナーも終了時間を迎え、ある受講者の方から「先生、10月からは何も買いません!!」との声があがり、皆さんドツと笑い出す場面がありました。

このセミナーは有益なものになったのでしょうか?

表紙の写真



「大正ロマンあふれる
門司港駅が復活」
(福岡県北九州市門司区)

福岡県北九州市門司区の門司港駅が、6年間にわたる耐震・補強・保存修理工事が完了し今年3月にリニューアルオープンしました。この駅は大正3年に開業した歴史あるJR鹿児島本線の駅で、昭和63年には鉄道駅としては日本で初めて国の重要文化財に登録されました。門司港駅を中心とする「門司港レトロ地区」は、明治から昭和初期にかけて外国との貿易で栄えた港町で、多くの観光客でにぎわっています。(大坪一彦)

MJSより

製品解説から経理体操まで
YouTubeで動画を配信中!



MJS YouTube
公式チャンネル

税理士事務所 CHANNEL

発行 株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-29-1
TEL. 03-5361-6309
(経営企画・広報IRグループ)

発行人 是枝周樹

編集企画 ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局、
経営企画・広報IRグループ

監修 ミロク会計人会連合会広報委員会

配信制作 東方通信社

印刷 耕文社

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。禁無断転載

【お申し込み先変更のご案内】

毎月募集しております歌舞伎座のペアチケットのお申し込み先につきまして、従来ご案内しているFAX番号に変更がございました。ご不便をおかけしました。(従来)0120-369-711 ⇒(変更後)03-5360-3430

Canon
make it possible with canon

キヤノンマーケティングジャパングループは、
企業が抱える様々な課題を
現状分析からソリューション開発まで、
お客さまと共にトータルで
解決していきます。

プロセスを変えれば、
会社は変えられる。



ソリューションは必ずある。

お客さまのビジネスをトータルで支える。
キヤノンマーケティングジャパングループ

キヤノンマーケティングジャパングループの新CM「ソリューションは必ずある」篇
(主演・佐藤浩市 出演・駿河太郎、林田麻里、鬼塚庸介、山中敦史、音楽・小田和正)は、
テレビ東京系列「ガイアの夜明け」等でご覧いただけます。

canon.jp